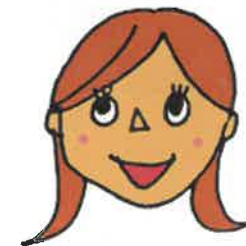




ゆめ組で大切にしていること



身の回りのことへ挑戦

1歳児のお子さまは自我が芽生え、手先を器用に動かせるようになるので「自分でやりたい」という意欲が育つ時期です。おたよりでも記載しましたが、ゆめ組ではこんなことへ取り組んでいます。

- スポンの着脱練習
- 戸外へ行く際の身支度練習（靴下、帽子、靴）

「自分で」という気持ちを十分に尊重し、時間を多く設けたり、納得してもらえるようなお手伝いを行ったりしています。



お友だちとの関わり

1歳半頃になると、物のやり取りをしたり、取り合ったりするなど、お友だちとの関わりが生まれてきます。一人遊びももちろん大切ですが、おままごとなどお友だちと関わりながら遊ぶことができくる時期になります。ゆめ組のお子さまたちも、お友だちと同じ玩具を使いたくなったり、同じ遊びをしようしたり、少しずつ関わりが増えていきます。気持ちを言葉で伝えられずに、手が出てしまったりトラブルになることもありますが、保育者が仲立ちに入り、気持ちを代弁したり、受け止めながら過ごし、お友だちとの関わりを多く持てるようにしています。



全部、いやいや

2歳前後になると子どもが成長する過程で最も自己主張が激しくなることを「イヤイヤ期」と言います。イヤイヤする姿が目には焼き付きがちですが、ゆめ組ではこんなことを大切にしています。

●お子さまに選んでもらう

この時期は何かを決断されることを極端に嫌がります。「ドラえもんやアンパンマンのオムツどっちがいい？」など二択で問いかけるなどして、小さな決断を日々沢山こなすことで、自我が満たされ、イヤイヤ減にも繋がります。

●気持ちに寄り添う

お子様が「嫌」と言った時には否定せず、「嫌だね」「そうだね」と気持ちに寄り添うようにしています。また、活動などに対して「したくない」という時には出来る限りの範囲内で一度行ってみて「今後またやってみようね」「〇〇したらやってみようね」と、寄り添うようにしています。

食事

1歳児ごろのお子さまは、好奇心がいっぱいで、自分で食べる楽しさに目覚める時期です。スプーンなどの食具の使い方を伝えながら、自分で食事をする楽しさを味わえるようにしています。時には食材を投げてしまったり、ぐちゃぐちゃにしてしまったりと遊び食べをしてしまうこともあります。遊び食べはお子さまにとっては探索活動の1つでもあるので、ただダメと伝えるのではなく「落としたり食べられないよ」となぜダメなのかを伝えながら見守っています。また、味覚が発達してくる時期でもあり、少しずつ好き嫌いが出てくる時期でもあります。苦手な食べ物を、1口でも口に含むことができた際にはたくさん褒めて次また食べてみようという意欲に繋げていけるようにしています。



机上遊び

座って机の上におもちゃや絵本、図鑑などの遊びの道具を広げて遊ぶ事を「机上遊び」といいます。机上遊びでは、「手先を使って考える力」や「集中力」を育みます。2、3歳にかけては指先に力を加えて遊べるようになるなど、指先を巧みに使って遊べるようになる時期です。ゆめ組では夕方の時間や雨の日などを活用し、お絵描きや製作遊び、シール貼り、パズルなどを行っています。自由遊びの時間では、お子さま自らご飯を並べて給食ごっこを行ったり、絵本を読んだり、机上で遊ぶ姿も多く見られるようになりました。



運動遊び

個人差はありますが2歳前後のお子さまは、早歩きや小走りができるなど、運動能力がぐんと発達する時期です。戸外活動の際には、かけっこをしたり、公園の段差や滑り台などの遊具の階段を使って昇り降りをしたりと全身を使った運動を取り入れています。公園までの往復もお友だちと手を繋いで歩き、関わりを取り入れながら、体力づくりをしています。

